

資料 1 統一協会関連団体リスト（全国靈感商法対策弁護士連絡会ホームページから）

統一教会関連団体リスト

	【カッコ書きは略称】
団体名	
世界平和統一家庭連合（旧：世界基督教統一神霊協会） ※旧統一協会＝家庭連合の本体組織 【FFWPU】Family Federation for World Peace and Unification	
HJ天宙天眞修練苑（旧：天宙清平修練苑）	
世界平和家庭連合	
世界平和芸術人連合【IAACP】	
世界平和宗教連合【IRFWP】 Interreligious Federation for World Peace】	
天宙平和連合【UPF】	
統一思想研究院【UTI】	
特定非営利活動法人 日韓トンネル研究会 NON-PROFIT ORGANIZATION THE JAPAN-KOREA TUNNEL RESEARCH INSTITUTE	
UNITE・KANSAI	
熊本ビューアフォーラム	
グローバルピースファウンデーションジャパン【GPF】	
国際科学統一会議（科学の統一に関する国際会議）【ICUS】	
PLA Japan	
ピースロード	
ユニバーサル・ピース・フェデレーション【UPF-JAPAN】	
国際指導者会議【ILC】	
国際勝共連合【IFVOC】／勝共UNITE【ユナイト】	
国際平和学術人連合／国際平和学術協会【IAAP】	
国際平和経済開発協会【IAED】	
世界平和頂上連合【ISCP】	
世界平和国会議員連合／世界平和議員連合【IAPP】	
世界平和女性連合【WFWP】	
世界平和青年学生連合【YSP】→【IAYSP】	
世界平和ファーストレディー連合【IAFLP】	
世界平和連合【WFP】	

日韓海底トンネル推進議員連盟
日韓トンネル推進全国会議
平和大使協議会
国際平和言論人協会【IMAP】
世界言論人協会
青年宗教者奉仕団
世界平和宗教人連合／平和と開発のための宗教者協議会【IAPD】
世界平和超宗教超国家連合【IIFWP】
一般財団法人 孝情教育文化財団
世界科学技術研究所【WRIST】
世界平和教授アカデミー（世界平和教授協議会）【PWPA】
ワールドカーブ・ジャパン【WCJ】／全国大学連合原理研究会【WCJ(CARP)】
鮮文大学
統一神学校
ブリッジポート大学
平和ボランティア隊【UPeace】
真の家庭運動推進協議会【APTF】
医療法人社団日心会 おおつか訪問看護ステーション
医療法人社団日心会 一美歯科
医療法人社団日心会 鍼灸マッサージ治療院オハナ
医療法人社団日心会 総合病院 一心病院
海外医療奉仕団（一心病院）
一般財団法人 国際ハイウェイ財団 The International Highway Foundation=IHF
ユニバーサル・バレエ団
リトルエンジェルス（韓国少女舞踊団）
株式会社 I J C（旧：株式会社男女美、株式会社さくらコーポレーション）

株式会社 K A H ジャパン（旧：（株）タカラ屋）
株式会社 イルファアジアパン（旧：（株）ワールドサービス）
株式会社 日本ジェイエス（旧：クリスティーナハン）
愛美書店
株式会社 I H M（旧：株式会社インターナショナルホームメディカル）
【I H M 関連団体】株式会社北海道メディカルシステムズ
【I H M 関連団体】株式会社やまとメディカル
【I H M 関連団体】株式会社首都圏メディカル
【I H M 関連団体】株式会社中部メディカルシステムズ
【I H M 関連団体】株式会社関西メディカルシステムズ
【I H M 関連団体】株式会社西日本メディカル
【I H M 関連団体】株式会社九州メディカル
株式会社ハッピーワールド（世一観光）
【ハッピーワールド関連団体】一信ジャパン（旧：一信石材）
【ハッピーワールド関連団体】世一観光
【ハッピーワールド関連団体】Blue Sky Tour
【ハッピーワールド関連団体】ブルースカイワールド
株式会社 光言社
世界日報
ワシントンタイムズ
中和新聞（発行元：（株）光言社）
世界家庭 World Family（旧：トゥデイズ・ワールド ジャパン TODAY'S WORLD JAPAN） （発行元：（株）光言社）
日刊紙「世界日報」
週刊紙「サンデー世界日報」
月刊「ビューポイント」
上記以外にも、様々な関連団体が存在しています。また、新たに設立される可能性があります。この他の関連団体について情報をお持ちの方は、資料と併せて当会までお寄せ下さい。

資料2 「共催及び後援等取扱要項」

（共催及び後援等の基準）

第5条 共催及び後援する事業は、その目的及び内容が教育委員会の掲げる教育目標の推進又は本市教育活動の振興に寄与するもので、次の要件を満たしているものでなければならない。

（中略）

3 前2項の規定にかかわらず、次の各号のいずれかに該当すると認められる事業については、後援等を承認しない。

- (1) 政治団体、宗教団体の活動又は特定の宗教若しくは政治のための活動と認められる事業
- (2) 事業等が公序良俗に反するものその他社会的に非難を受けるおそれがあるとき。
- (3) 団体等の宣伝若しくは会員の勧誘を目的とするもの又はそのおそれのある事業
- (4) 営利事業又は営利的意図があると認められるもの、ただしその収益を教育事業あるいは社会福祉事業にあてる等の公益性を有するものはその限りではない。
- (5) 集团的若しくは常習的に暴力的不法行為を行うおそれのある組織の利益につながるもの、又は参加者に対して圧迫感を与えるもの
- (6) 教育委員会の名誉をき損し、又は信用を失墜する恐れがあり、教育行政の運営に支障をきたすおそれがあるもの。

文章は岡山市教育委員会の「共催及び後援取扱要領」からの引用だが、各局各事業の同種規程でも、ほぼ同じ表現の規定が盛り込まれている。

資料3 「生命の安全教育」と「包括的性教育」で異なる点

表4 各段階における指導内容（一覧）

（文科省「生命の安全教育」指導の手引き 2021.4.16から作図）

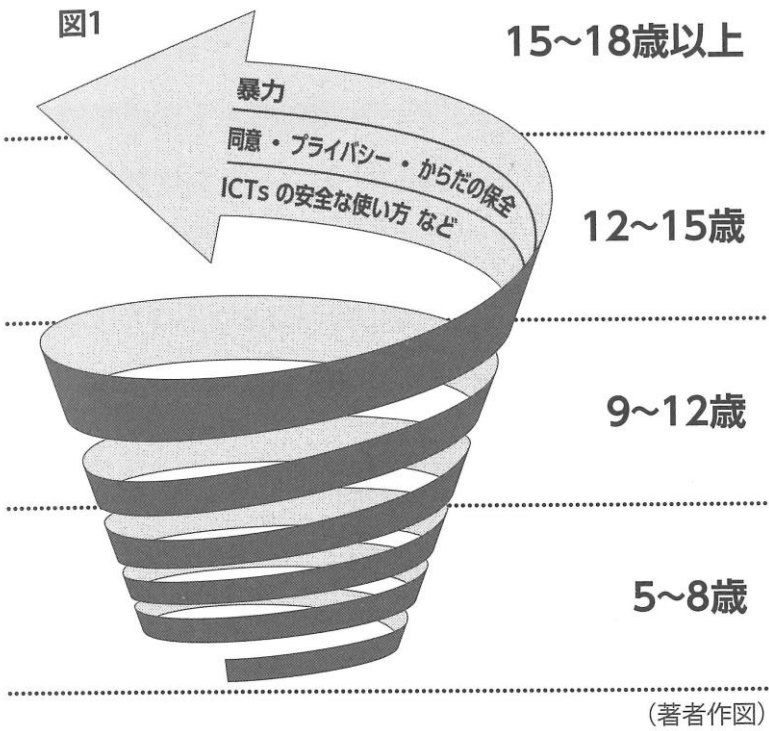
年齢		幼児期			小学校						中学校			高校			大学						
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20					
指導内容	自他の尊重 (自分と相手の心・身体の尊重)																						
	水着で隠れる部分																						
	SNS の危険性																						
	性暴力について																						
	デート DV																						
	JK ビジネス																						
	セクシュアルハラスメント																						
	レイプドラッグ 酩酊に乗じた性暴力																						
	AV 出演強要																						

「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」における学習内容と学習計画が、「生命の安全教育」ともっとも異なる点

- ①すべての学習テーマをすべての年齢で学ぶ
- ②学習テーマは、年齢グループに応じて「らせん型」に発展

上表：文部科学省「生命の安全教育」指導の手引き（2021.4.16から水野氏作図）

右図：「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」における学習内容と学習計画の模式図（水野氏作図）



資料出展： 『生命の安全教育』をのりこえるー『性と人権』・『暴力と安全の確保』に関する確かな教育プログラムをー水野哲夫（一橋大学等非常勤講師・性教育代表幹事）／「季刊セクシュアリティ」No.105号掲載論文より